

ハウス食品、ハウスウェルネスフーズ 賞味期限「年月」表示順次開始のお知らせ

ハウス食品グループのハウス食品株式会社（社長：工東正彦）とハウスウェルネスフーズ株式会社（社長：広浦康勝）は、賞味期限表示の「年月日」から「年月」への変更を、2021年4月より順次実施してまいります。これにより社会問題化している“食品ロスの削減”や“物流・オペレーションの効率化”などの解決に向けた貢献を目指してまいります。

ハウス食品グループでは、賞味期限の「年月」表示化について社内で検討を進め、2020年春の実施を目指しておりましたが、新型コロナウイルス感染予防対策の影響で、システム改修等の遅れが生じ、当初の実施予定を見合わせておりました。

■実施の背景

日本の“食品ロス”は2017年度食品ロス量約612万トン、このうち食品関連事業者から発生する事業系食品ロス量は約328万トン（2017年農林水産省推計）となっています。2015年「国連持続可能な開発サミット」で採択されたSDGsでも10年後の2030年に、食品ロスを半減することを決議されており、世界的な問題としても社会の関心・意識が高まっています。

また、食品産業界では労働力不足による配送トラック等のドライバー不足、倉庫内作業従事者の不足が深刻な課題となっており、効率化に向け製造・流通・小売各業界が連携した“製・配・販”によるサプライチェーン全体での取り組みが進んでいます。

■年月表示の対象製品

- ・ハウス食品：賞味期間1年以上の家庭用製品
- ・ハウスウェルネスフーズ：家庭用全製品

■年月表示の開始時期

2021年4月から順次予定

【ご参考】ハウス食品グループの食品ロスに対する取り組み

- ・製品の返品・廃棄削減活動やリサイクルの促進
- ・フードバンクの活用（ハウス食品は2016年より、ハウスウェルネスフーズは2017年より寄贈を続けております）
- ・容器包装の減容化、短時間調理製品（省エネルギー）、お客様が使い切りやすい製品（食品残渣を減らす）など、製品面での環境対応の促進
- ・“もっとカレーだからできること”プロジェクトの推進（カレーを使った家庭内食品ロスの解決提案です）

<https://housefoods-group.com/activity/foodloss/index.html>

ハウス食品グループは、官公庁及び製・配・販のサプライチェーン全体とも連携を図り、食品ロスの削減、環境負荷低減、持続可能な社会実現に向けた取り組みに引き続き貢献してまいります。